

R3.11.17

社会を明るくする運動 作文



笑顔



「社会を明るくする運動」では、犯罪や非行のない地域をつくるために、一人ひとりが考え、参加するき、かけをつくることを目指してみえます。小中学生を対象に、犯罪や非行のない地域社会づくりや、犯罪、非行をした人の立ち直りについて理解を深めるために作文コンテストが行われ、保護司の方が受賞の賞状を届けてくださいました。



交通安全ポスター
社会を明るくする
運動作文
校長室で表彰式！



おめでとうございます！！



交通安全ポスター
金賞

社会を明るくする
運動作文
会長賞

「明るい社会に向けて今できる事」
次ページを ごらんください。

第71回“社会を明るくする運動”作文コンテスト

小学生の部 可児保護区保護司会 会長賞

明るい社会に向けて今できる事

可児市立旭小学校

私はしょう来、立派な大人になるために、いつもお父さんやお母さん、先生から言われていることがあります。

それは、目を見て話す事、ごまかさな事、素直に、正直に話す事、だれにでも感謝を忘れない事、うそをつかない事、他にも、あいさつの大切さや、返事の大切さ、常に笑顔でいることなど、今も大人になっても大切な事ばかりです。ですが、私は、素直になれずいつも、指てきされています。

前にお母さんから、

「だれにでも、感謝の気持ちを忘れなければ悪い事をしようと思わないだよ。感謝の気持ちを忘れなければ、自然と、素直になれるよ。」

と教えてもらったことがあります。それを聞いて、私は「誰にでも感謝をしよう！」と思いました。常に、これらの事を意識していれば、今も、しょう来も、悪い事はしません。悪い事をしなければ、人から信用されるチャンスが来るかもしれません。

しかし、私は、まだ素直になれていません。その理由は、悪い事をしてしまった時素直に言って、みんなから責められるのが怖いからです。そして責められたら、余計に素直になれません。直そうと思っているのに指てきされたら直したくなくなります。今、私はこのような気持ちと戦っています。

この作文を機に、悪い事をする人の気持ちも考えてみました。悪い事だと分かっていたり、他の人の事は考えず、自分の事だけ考えず悪い事をしたりしてしまう人もいます。「バレなければいい。言わなければいい。」その様に考える人はだいたい、悪い事だとみとめません。また、悪い事をしてしまったと反省している人は、ちゃんと、正直に言う人だと思えます。しかし、もしかしたら適当に謝る人もいるのじゃないのかなと思ったりもします。

悪い人たちの弱さも考えてみました。何で、弱さについて考えたのかというと、悪い事をしてしまうのは弱さに負けてしまうからだと思ったからです。悪い人の気持ちには、例えば、バレなければいい、見つからなければ大丈夫、自分がやりましたと言わなければいい、悪いことをしても、自分は困らないなどが、あると思えます。

その弱さに勝つには、自分も反省することと、周りから支えてもらう事だけではありま

せん。まず、やってしまったことを反省し、もうしないと決めます。そして周りの人は、絶対に責めたりしないでほしいです。今の私と一緒に、責められてしまうと、逆情した悪い事をしてしまうかもしれません。だから責めるよりも、なるべく優しく注意をし、見守れる様にすると良いと思います。あたり前の事ですが、悪い事は、全く自分のためになりません。それは、覚えておかなくてはいけない事です。

また、今ある状況は、あたり前ではないのです。私自身が今存在するのもあたり前の事ではありません。生きていく事、皆がいてくれる事に感謝の気持ちを忘れてはいけません。また、学校に行けて、勉強ができ、安心してお友達と遊んでいる事も、あたり前の事ではないのです。世界には、そうじゃない国もあります。ご飯を食べられている事もあたり前じゃありません。農家の人や漁業、らく農家の人がいて、スーパーがあつて、ご飯を作ってもらってようやくご飯が食べられます。生まれてから、あたり前に生活をしている事全てが、誰かがいて、そのおかげで成り立っています。その事に感謝をしなくてはいけないと思います。皆がこの事に気づいて、感謝の気持ちを忘れないで日々過ごしていけると、明るい社会になっていくのではないかなと思います。

私も、あらためて、日々あたり前な事はなく、感謝の気持ちを忘れないで過ごしていきたいです！